



議会だより

編集 議会だより編集委員会

令和元年第3回朝霞市議会定例会
監査委員選任に関する同意を求めることについてを審議

朝霞市議会議員一般選挙後の初議会は、昨年の12月18日(水)から27日(金)までの10日間の会期で開かれました。

定例会初日の18日に、正副議長の選挙、常任・議会運営の各委員会の委員の選任等を行い、今後の議会構成が決まりました。

この定例会では、市長から1議案が提出され、慎重に審議した結果、同意しました。また、議員提出議案が1件提出され、原案のとおり可決しました。

なお、議会構成と議案の要旨および審議結果については、広報あさか2月号の「議会だより」をご覧ください。(市ホームページでも公開しています。)

議案審議

議案第39号 監査委員選任に関する同意を求めることについて

【質疑】

監査委員選任について

田辺淳議員 改選後の初議会(議員数24人)で、議長は輝政会(最大党派・10人)から、副議長は公明党(5人)から選出されました。

今回(初議会の最終日)に、市長は監査委員を議長と同じ会派の輝政会(獅子倉議員)で提案されたわけですが、(与党会派でなくとも)監査委員適任者はいらっしゃいますし、むしろそのほうが、第三者的な立場で「公明・正大」に監査を行うことができると思います。

市長に伺いますが、今回の提案で議会のどなたからかの推薦があったのですか。

一般質問

市長 何か言われたことはありません。選任の理由は、人格が高潔であること、議員としての7期28年の経験を通じて、市の行政運営に優れた識見を有していること、地域社会に根づいた活動実績等から監査委員として適任であると考え、選任しています。

一般質問とは、生活に関わる市政全般のことについて、市に対して行う質問です。

総務関係

SDGsの市の取り組みについて

遠藤光博議員 SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年に国連で開かれたサミットで決められた国際社会の共通目標です。

一見大きなテーマと思いますが、実は私たちの毎日の生活の足元から始まっている身近なテーマでもあると気付くと思います。

しかし、いまだによく知られていません。市民の方々の活動にもこの理念に基づいているものもあります。目標項

目に関連付けてあげること意識も高まると思いますが、見える形とし、市としても取り組んでいる姿勢を示してほしいと思います。

市長公室長 市では、国が平成28年12月に策定したSDGs実施指針で定める8つの優先課題と具体的な施策に基づき、市の総合計画に位置づいている関連施策に取り組んでいます。

また、令和元年6月に閣議決定された国のまち・ひと・しごと創生基本方針2019にも、SDGsを原動力とした地方創生が掲げられており、SDGsの理念に留意して市の施策や計画を検討していくことが肝要と捉えています。

現在、第5次総合計画の後期基本計画の策定を進めています。検討中の施策や事業の中にはSDGsの理念に沿うものがありますので、SDGsの目標達成を推進する施策について位置づけていきたいと考えています。

今後は市民の皆様の間でSDGsの理念が浸透し、持続可能なまちづくりへの具体的なアクションにつながるよう、それぞれの施策の展開に合

せ啓発にも努めてまいります。その他の質問項目 防災対策 避難者の支援・ペットの対応 ほか/自転車通行可歩道の安全対策/認知症対策 ほか



災害から住民を守る取り組みについて

石川啓子議員 台風19号は大きな被害をもたらしました。内間木地域では、避難勧告が出たときには周辺道路が冠水して、家から出ることができなかった「一時避難所の丸沿倉庫周辺も道路冠水で近づけなかった」という声が寄せられました。命に関わる問題です。

田島、内間木地域は、雨水管理計画の区域外となっており十分な対策が取られていません。

国や県に対してどう要望を上げているのか、また市としてどう対策を取っていくのかお伺いします。



市長 国や県への要望については、埼玉県市長会を通じて令和元年12月上旬に行つたところ、国に対しては、災害救助法の適用範囲が避難所の開設に係る費用のみとなつて

いるため、河川パトロールに伴う人件費なども対象に含めていただきたいこと、朝霞水門の操作について、弾力的な運用を可能にいただきたいこと、また、県に対しては、埼玉県が管理する新河岸川や黒目川について、定期的な河道掘削を実施していただきたいことを要望したところで、田島・内間木地域についての排水対策は、今のところ既存の計画に沿った形で行つていきたいと思いますが、早目に計画を前倒しにしていける

ところがあれば行つていきたいと思ひます。

その他の質問項目 歩いて行ける距離に避難所を／福祉避難所の増設／待機児童解消／子どもの貧困対策の取り組み



朝霞市の財政について

外山まき議員 朝霞市は通勤の便も良く、人口も増えているので、税収は安定していますが、毎年決まった支出が94割を占め、新しい住民サービスや突発的な支出に使える金額が6割と少なく、財政が硬直化してしまっています。

少子高齢化は避けては通れないので余裕があるうちに対策を取るべきと考えますが、硬直化している財政にどのような対策を考えていますか。

特に、少子高齢化で税収減になることについて今までどのように対策なさつてきましたか。

総務部長 経常収支比率は、平成30年度は94.0割と、平成29年度の93.8割から0.2割上昇しています。

要因としては、市税が増加となつた一方、子ども・子育て制度の影響などによる扶助費が増加したことによるものと考えており、今後も財政状況は厳しいものと考えています。

対策としては、歳入では市税収入の確保に努めるとともに、歳出では経常経費の削減

に努めているところです。

市長公室長 少子高齢化について長期で見れば、やはり人口減少を迎えることを前提に対応していくということを大事な観点と捉えています。

本市において、まずは住み続ける市民を増やそうという観点からの施策の立案を行っています。

その中で、地域と連携した市内産業の活性化、地域との関連によるふるさと意識の醸成、市の魅力発信、子育ての支援などといったさまざまな施策に取り組んでいます。

その他の質問項目 公務員給与水準／防災対策／地域的な児童数増加対応／給食オーガニック化／民営化について

多様な性的指向・性自認等の尊重について

齊藤弘道議員 2019年6月議会で「朝霞市におけるパートナーシップの公的認証および性的少数者に関する諸問題への取り組みに関する請願」が全会一致で採択されました。

市はこれをどう受け止めて取り組んでいるのでしょうか。また、以前要望した男女平等

推進計画に盛り込むことはどうなったでしょうか。さらに相談窓口の明確化と市独自の相談体制の整備が必要ではないでしょうか。

市としての支援宣言、パートナーシップ認証、交流の場の提供、災害時の配慮、対象を明確にした啓発などの検討を求めます。

総務部長 請願が市議会で採択されたことを真摯に受け止めてきました。

職員・教職員サポートガイドを作成、発行しました。併せて人権施策庁内連絡会を開催し、共通認識を図る機会としました。

また、総合案内および担当部署の窓口にはレインボーフラッグ表示を設置しました。

第2次男女平等推進行動計画後期基本計画の策定に向けての多様性の尊重についての内容を盛り込むよう準備を進めています。

パートナーシップ認証制度は本市にとつてどのように規定していくことが必要かについて、検討したいと考えています。

現在は、人権相談をご案内

しています。女性センターに相談が寄せられた場合には、専門の相談窓口等をご案内しています。

啓発と相談窓口は、今後、当事者のご意見を伺いながら、実施可能なことから検討してみたいと考えています。

その他の質問項目 2020年度予算編成状況と過程の可視化／人にやさしい道路づくり

災害備蓄品として液体ミルクの導入について

宮林智美議員 お湯で溶かす必要のない液体ミルクは、必要なビタミンやタンパク質など母乳に近い栄養素が含まれ、25度以下の常温で保存もできます。

停電や断水時にも安心して赤ちゃんに飲ませてあげることができます。

今年、各地で大きな被害を出した台風15号や19号の被災地で「水を沸かせない環境の中、液体ミルクは簡単に便利でとても助かった」と液体ミルクが役に立ったそうです。

災害備蓄品として液体ミルクの導入について市の考えをお伺いします。



危機管理監 乳児用液体ミルクの備蓄については、台風や地震等によりライフラインが断絶した場合でも、水や燃料等を使わずに速やかに授乳ができるため、災害時の備えとして利点があると認識しています。

現在販売されている液体ミルクは常温保存が可能とされているものの、防災倉庫での夏場の保管については品質上の課題もあることから、各小学校の防災倉庫での備蓄には課題がありますが、適切な保管場所を確保のうえ、導入に向けて検討してまいります。

その他の質問項目 おたく風邪の予防接種の無料化／子ども医療費／保育士の処遇改善／高齢者の足の確保 ほか

大雨による消防団第8分団詰所被害について

小池貴訓議員 令和元年10月12日上陸の台風19号の影響により、内間木地区は大規模道路冠水に陥りました。

その中で今回は地域防災の要である消防団第8分団の車庫詰所が道路冠水の影響で床下まで水が迫り、職務遂行が非常に厳しい状況になり、や

むをえず車庫詰所から避難するという事態になってしまいました。

今回の消防団車庫詰所が道路冠水の影響で消防団活動ができなくなる事態は早急に改善対策が必要だと思われま

危機管理監 台風19号による大雨の影響で、内間木地区を管轄する消防団第8分団の詰所が浸水したことは把握しており、その後、詰所内の消毒を実施するなど対応したところ

です。

第8分団の当日の対応としては、詰所が浸水する前に消防ポンプ車を出動させ、河川巡視や地域の避難者の支援を実施するなど状況に応じて活動していただいています。

今後の対応策は、消防団とも協議しながら検討してまいりたいと思います。

その他の質問項目 荒川・新河岸川・黒目川の越水氾濫対策について／避難行動要支援者の避難状況と現状について

その中で今回は地域防災の要である消防団第8分団の車庫詰所が道路冠水の影響で床下まで水が迫り、職務遂行が非常に厳しい状況になり、や

教育環境関係

ごみ処理広域化の検討状況について

田辺淳議員 日本は、ごみの焼却（無くなるわけではなく、危険な物質が灰の中に残る）で根本的な課題を回避してきました。その付けが「最終処分」（朝霞市は草津・米沢・寄居などへ）であり、プラスチックの環境汚染です。

ところで、市は（地球温暖化対策実行計画の）CO2（二酸化炭素）削減目標も全く実現できていません。リサイクルのできないプラスチックを削減し、CO2を大量に排出する焼却を止めていく（脱プラスチック）、そうした目標を持つべきです。現在、広域化議論を進めています。具体的議論されている内容をお示しください。

市民環境部長 ごみ処理広域化協議会では焼却処理施設と粗大ごみ処理施設を一緒にすることが妥当ではないかというところで協議は進んでいます。

収集運搬は、今のところそれぞれの市で行うことで協議

してありますが、決定事項ではありません。

瓶、缶、プラスチック類に関しては、朝霞市の施設はまだ比較的新しいので、その施設があるうちはそれぞれの市で処理を行いながら、タイミングを見計らって共同処理に持っていくかという話をしているところですが、まだ協議中ですので、決まりましたらお話をさせていただきたいと考えています。

その他の質問項目 地域格差是正にさらなる児童館・図書館の配置を／ポケットパーク・ベンチの配置を



マイナンバーカードの普及について

大橋正好議員 マイナンバーカードの現状において、なぜ普及率が低調なのですか。

また、次から次へといういろいろな内容が新しく出てきています。健康保険証として使用する制度や、買い物などでポイントを付与する話がありますがどうお考えですか。

さらに、政府は2023年3月末までに、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを想定していますが、朝霞市の見解をお聞きます。

市民環境部長 本市における令和元年11月末現在のマイナンバーカード交付枚数は2万2410枚で、交付率は15.8割です。

国は交付を進めようとしていますが、まだ身分証明以外に有効に活用できる方策がないということが、なかなか普及しない原因ではないかと考えています。

現在、国から、ポイント制度や保険証など、いろいろな話が出ていますが、まだ具体的なものは来ていません。

市の交付計画は、2023年3月末までに住民の方がすべて取得するような計画で出していますが、これは国の計画に沿ったものです。





児童生徒の入学後の支援につなげる就学相談

本田麻希子議員 小・中学校

の入学に際し、就学先について相談する機会である就学相談は、文部科学省中央教育審議会の報告によれば、「本人・保護者と市町村教育委員会・学校等が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を行うことを原則」とするとされており。

朝霞市では、就学相談の内容について情報共有を行い、児童生徒の入学後の合理的配慮など具体的な支援に結び付けることができているのかお伺いいたします。

学校教育部長 就学相談では、子どもの実態を把握し保護者の気持ちに寄り添いながら相談を進めています。市では複数回の相談を行い、子どもに適した学びの場について保護者と合意形成が図れるまで丁寧にも相談を重ねるなど対応しています。就学支援委員会での判定も保護者に知らせた後に、保護者の意向を踏まえて丁寧に対応しています。合理的配慮の提供については、就学相談や就学支援委員

会、保幼小連携等で得られた情報を基に、学校と保護者が直接面談をする中で、子どもの特性に応じた個別の支援計画、指導計画を作成し、内容を決定しています。

教育委員会としては、引き続き子どもたちが適切な学びの場で、実態に応じた必要な支援を得ながら成長できるように、体制整備に努めてまいりたいと考えています。

その他の質問項目 避難所開設と情報提供のあり方／飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の推進



SNS・インターネットの犯罪から身を守る

福川鷹子議員 大阪府で小学

校6年生の女兒がSNSで知らない大人と会い、事件に巻き込まれたケースが発生しました。埼玉県では30代男性が、ツイッターに家出を望む投稿をした女子中学生に返信し連れ出し、約40日間にわたり、自身の借家に住まわせた事件も発生しました。

当市の児童・生徒のスマートフォン等の保有率は他市と比べて高いですか。スマートフォンやインターネットのトラブルは今までにありましたか。教育委員会として行ったことはどのようなことですか。

朝霞市の実態をお聞きます。

学校教育部長 平成30年度に埼玉県が行ったスマートフォン等に関する調査では、朝霞市のスマートフォン・携帯電話の保有率は、小学生^{63.2%}、中学生^{83.3%}となっております。埼玉県全体の小学生^{57.7%}、中学生^{76.7%}と比べ高くなっている現状です。

今年度、朝霞市でも、児童・生徒がSNS等を利用したことによりトラブルに巻き込まれた事案は複数件発生しています。SNSを利用した誹謗中傷、見知らぬ成人と安易につながってしまった件、画像を流出させてしまう事例等のトラブルは、本市でも喫緊の課題と捉えています。

教育委員会では教育長緊急メッセージを作成し、児童・生徒、保護者宛てに配布しました。メッセージは市内の現状を知っていただくと共に、スマートフォン等の扱い方に

ついて、親子で見直す機会となるように働きかけたとところです。

その他の質問項目 災害ボランティアについて



小・中学校へアーティストのアウトリーチを

岡崎和広議員 アウトリーチ

とは、日本語で「手を伸ばすこと」を意味します。

日頃、芸術や文化に触れる機会の少ない人々に対して、その生活・活動の場にアーティストが出向き演奏、演技などを行う「出前講座」と言えます。

朝霞市として、まず若手アーティストを募集、アーティストバンクを設置し、その後、小・中学校にアーティスト（音楽家等）を派遣し、演奏等を行うアウトリーチ事業を展開してはいかがでしょうか。

副市長 私も公益財団法人朝霞市文化・スポーツ振興公社の理事長を務めていますので、音楽のまち朝霞市として、心豊かな、住み心地のよいまち

になることを大いに望んでおります。

しかしながら、アウトリーチ事業は音楽家の発掘等、まだ課題も多く、引き続き、教育委員会をはじめとした関係各課はもちろんのこと、朝霞市文化・スポーツ振興公社も含めて情報交換を進めたいと思います。

その他の質問項目 災害対策／わんわんパトロール／武道館へエアコン／市民会館トイレの改修／交通安全対策

下肢障害の子どものインクルーシブ教育

黒川滋議員 障害者雇用率は

23%に設定され、実社会は障害の有無を超えて一緒に仕事をする時代に、学校は十分対応できているのでしょうか。

座学では人的支援の必要が少ない下肢障害の子どもが市立の小・中学校に通う障害は、施設の物理的障害だけではないでしょうか。

人荷共用を含め、エレベーターがある小・中学校に、下肢障害の児童が希望すれば入学を認めるかと思っています。その場合、体育の授業はどのような扱いをしますか。



学校教育部長 体育の授業については、その障害の状況によって対応は異なると捉えています。

それぞれの子どもが使える体の機能によって状況が変わってきますが、それぞれに応じた形で運動できる部分は考えていく必要があると思っています。

また、激しい運動については、例えば見学をする中で、課題等について一緒に考えさせるなど、レポート等で対応していくといったことになると思います。

その他の質問項目 東上線の改善要望／公共施設の再配置の必要性／北朝霞駅の点字ブロックの再設定／校則の改定

地元企業の振興発展と共にあるまちづくり

田原亮議員 二期目最初の一般質問は、先の選挙で掲げた公約に沿ったテーマを取り上げました。

中でも、題名の通り地域振興発展施策については一期目から力を入れております。

今回は特に、平成31年4月からスタートした産業振興基本計画の目玉事業ともいえる

4つのリーディングプロジェクトのうち、産業分野における3事業について進捗を伺います。

また、次年度へ向けて新たな事業としてどのようなチャレンジを行っていくのか、新規事業の予定も伺います。

市民環境部長 本計画のリーディングプロジェクトとして、1つ目の起業支援では、空き店舗対策を行っている豊島区や志木市の状況を見てきました。また、今年度から店舗のバリアフリー工事費の補助制度を開始しています。

2つ目の企業誘致は、旧朝霞第四小学校跡地の利活用事業として、令和元年9月に新電元工業株式会社と事業用定期借地権設定契約を締結しました。

3つ目の就労支援は、事業者と市内での就労を希望する方をマッチングさせる就職相談会や就職支援セミナーをこれまでより回数を増やし実施しています。

新たな事業としては、起業支援としてバリアフリーに限定しない店舗リフォームに対する補助制度の実施に向け検討したいと考えています。ま

た、仕事と家庭の両立や誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む企業等を市として認定する制度をスタートさせる予定です。

その他の質問項目 254バイパス／ペット同行避難／コミュニケーションスクール／避難行動要支援者／各障害実態把握



建設関係

公共交通施設のバリアフリー化を

山口公悦議員 駅を利用するお子さんを持つお母さんや高齢者の方、体の不自由な方からエレベーターやホームドアの設置等が強く求められています。

国交省は2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、駅のバリアフリー等を義務付けました。朝霞台駅も北朝霞駅も一日平均の乗降客は、それぞれ16

万人超えと14万人超えで、県内ランキングで5位と8位です。利用者の安全・安心を何よりも優先するよう、朝霞市が東武鉄道やJRに強く要望することを求めます。

市長 東武鉄道については東武東上線改善対策協議会、JR東日本については武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じて、バリアフリー対策を要望してきました。

特に、東武鉄道にはエレベーターやホームドアの設置について、私から直接要望したところです。

都市建設部長 朝霞台駅へのエレベーターの設置について、東武鉄道に伺ったところ、駅舎の建て替えに向け具体的な検討に入ったとのことでした。

しかし、駅の改修は工事完成までに相当の期間を要するため、仮駅舎を設置し仮のエレベーターを設置するなどについても検討を行っているとのことでした。

また、ホームドアは2021年度以降に整備予定となっています。

次に、北朝霞駅については、朝霞台駅との乗り換え改善などについて要望しています。

市としては、必要に応じて鉄道事業者に要望していきたいと考えています。

その他の質問項目 第十小学校通学路の安全対策／東武鉄道トンネルの安全対策／教員を壊す変形労働時間制問題

シンボルロードの運営と活用について



山下隆昭議員 令和2年2月よりシンボルロードの供用開始が予定されており、新たなまちの顔として市民の憩いの場となることが期待されています。

今後、市民の方々と共に幅広い利活用を模索することが、市民生活を向上させ、市の財政面から有益な地域資源の一つになると考えます。

その中で、誰がどのように運用していくのか、また、地元商店会や商工会なども積極的に連携を図り人のにぎわいと交流を創出していくべきと考えますが、市の見解をお伺いします。



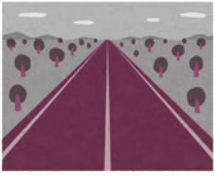
都市建設部長 シンボルロー

ドは、市民のまちづくり活動の実践の場として計画段階から市民参加を取り入れ、事業を実施してきましたので、維持管理だけでなく運営面についても今後、市民等の皆様と一緒によりよい管理運営体制の構築に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

令和2年2月に予定しているシンボルロードのオープニングセレモニーでは、市民が主体となった関連イベントとして、地元の方々によるマルシェやワークショップ、ジャズの演奏会など、さまざまな楽しいイベントを企画しています。このイベントを、シンボルロードを活用したにぎわい創出に向けての試行的な取り組みの一つとして捉え、今後の利活用について検討を進めたいと考えています。

その他の質問項目 254バイパス

の進捗について／内間木橋撤去対策について／八小前の安全対策について



下内間木地区の道路整備について

須田義博議員 内間木橋の廃止撤去が報告された中で、下内間木地区住民の皆さんの市内中心部へのアクセスにどのような対策を講じるのかお聞きします。

この地区は水害などの面で不自由な思いをしている地域でもあり、道路整備という点では、いまだ幅員の狭い未舗装の道路も多く街灯も少ない地域です。緊急時の避難路や緊急車両の通行も考慮する必要もあり、今回改めてこの機会に、下内間木地区の住民の皆さんの意見を丁寧に聞いて、道路整備を進めることについてお聞きします。

都市建設部長

令和元年11月16日に開催した内間木橋撤去の説明会では参加いただいた方々から、災害時の避難経路の確保や国道254号バイパスへのアクセス強化、照明灯の増設などのご要望をいただきました。

橋の撤去後の対策は、国道254号バイパスへのアクセス強化のための道路改修などに、着手しているところです。

民生関係

聴覚に障がいのある方の活動へのサポート

また、交通安全対策などは、橋の通行止めによる交通量調査を実施することにより把握し、必要な箇所に安全対策を検討していきたいと考えています。

利根川仁志議員

平成27年9月議会にて、朝霞市日本手話言語条例が全会一致で可決されましたが、条例制定からこれまでの朝霞市の取り組みをお伺いいたします。

また、聴覚に障がいのある方の活動として、「あさか手彩の会」は、聴覚に障がいのある高齢者の引きこもり等を予防するため憩いの場をつくる活動を定期的に行っていたと考えております。

会場の確保や活動への補助等、それらの活動へのサポートについて朝霞市の見解をお

伺いいたします。

福祉部長

条例制定後の主な取り組みは、毎年度、聴覚障害者を講師とした市民対象の講演会を開催しているほか、広報に日本手話情報コーナーを掲載しています。さらに、市民を対象に手話講習会を実施し、職員に対しては、初級研修および上級研修の際に手話研修を実施するとともに、毎年度、全職員を対象とした条例の理解を進めるための研修を実施しています。

聴覚障害のある高齢者の集いであるあさか手彩の会は、外出しづらい聴覚障害のある高齢者の介護予防などを目的として、レクリエーション活動などを実施していることは承知しています。

こうした団体に対する市の補助としては、朝霞市地域保健福祉活動振興事業費補助金があります。また、活動の場の支援としては、総合福祉センター内の会議室や調理実習室などを活用いただけると考えています。

その他の質問項目

朝霞台出張所の利便性向上／三原地域への公共施設設置／溝沼3丁目貯留施設建設計画の前倒し

3歳児健診における眼科健診について

駒牧容子議員 子どもの目の機能は、生まれてから発達を続け、6歳までにはほぼ完成すると言われています。

そのため、就学前の早い時期に、近視、遠視、乱視などの屈折異常や斜視などの弱視の要因を検査することで、早期発見と早期治療につなげていくことが肝要です。

3歳児健診時にスポットビジョンスクリーナーという機器を導入し、遠視や乱視等の屈折異常を検査し、弱視発見の精度を上げている自治体があり、導入をすべきと考えますが、朝霞市の見解をお伺いいたします。

市長

ご提案の視力検査機器については、お子様の目の異常の発見を早期にでき、非常に効果的だと聞いていますので、令和2年度中の3歳児健診から導入できるように、担当に指示したいと思っています。

その他の質問項目

防災・災害対策／学校現場で働く方への支援／徘徊の可能性のある方への支援／地域問題



国保・後期高齢者医療・介護保険の負担軽減

かしわや勝幸議員 国民意識調査、世帯平均所得年次推移、所得金額階級別世帯数の相対度数分布ほかを基に負担軽減を訴えてまいりましたが、総務省の家計調査報告においても生活の厳しさが浮き彫りになっています。

当市の平成31年度の年金のみ受給者は1万6504人で負担軽減により経済にも好影響なものと推定されます。

高齢者や低所得世帯などの負担軽減に努めるというような回答でしたが対策と現状について伺います。

また、引き続き負担軽減を要望します。

こども・健康部長 国民健康保険においては、所得が一定以下の低所得世帯や倒産・解雇等により離職された方などにに対し、保険税の軽減を実施しています。

また、後期高齢者医療保険においても、保険料の軽減特例など、全国後期高齢者医療広域連合協議会において、継続的に実施するよう国へ要望しています。

福祉部長 本市の介護保険料は、13段階に分かれています。

国においては、今年度より介護保険料の第1段階から第3段階の低所得者の方に対し保険料の軽減強化を実施していますが、本市では独自の取り組みとして国よりも低い基準で保険料率の設定を行っています。

なお、来年度についても、第1段階から第3段階の保険料について、さらなる軽減強化を実施するという方向性が示されています。

介護保険の利用者の負担軽減については、市独自の補助制度もあり、住民税非課税世帯を対象に介護サービスを利用した際の補助を行っています。



各種審議会等委員に次のとおり推薦しました

(順不同)

外部評価委員会

小池貴訓 大橋正好

情報公開・個人情報保護審議会

原田公成 斉藤弘道

公共施設等総合管理計画検討委員会

石川啓子 本田麻希子

環境審議会

原田公成 外山まき

廃棄物減量等推進審議会

山下隆昭

コミュニティセンター運営審議会

小池貴訓

民生委員推薦会

駒牧容子

総合福祉センター運営協議会

遠藤光博

児童館運営協議会

宮林智美

青少年問題協議会

福川鷹子 山口公悦

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議

遠藤光博 本田麻希子

国民健康保険運営協議会

野本一幸 岡崎和広

都市計画審議会

獅子倉千代子 須田義博

かしわや勝幸 田原亮

駒牧容子

景観審議会

山口公悦 黒川滋

地域公共交通協議会

小池貴訓 田辺淳

緑化推進会議

原田公成 石川啓子

下水道審議会

かしわや勝幸 斉藤弘道

水道審議会

須田義博 利根川仁志

子ども・子育て会議

獅子倉千代子

総合計画審議会

山下隆昭 田辺淳

野火止用水使用組合

岡崎和広

学校給食運営審議会

福川鷹子 宮林智美

外山まき

社会教育委員

野本一幸

博物館協議会

利根川仁志

公民館運営審議会

田原亮

図書館協議会

大橋正好

文化・スポーツ振興公社評議員

須田義博 駒牧容子

図書館協議会

文化・スポーツ振興公社評議員

須田義博 駒牧容子

議会からのお知らせ

議会の詳細は会議録で

市議会の審議内容を詳しくお知らせになりたい方は、市政情報コーナー（市役所1階11番）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。市ホームページからもご覧いただけます。

なお、常任委員会の会議録も市ホームページからご覧いただけます。（12月定例会の会議録は、3月上旬に公開を予定しています。）

聴覚障害のある皆さんへ

市議会では、本会議の手話通訳を無料で手配します。お気軽にご連絡ください。



問／議会総務課

TEL 463-10549
FAX 463-10307